



東稲ニュース

第 144 号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

2025 年 11 月 10 日発行

発行責任者 山口 謙二

編集責任者 片平 るみ

E-mail: oyamasahiro1130@gmail.com

<http://higashikurume-toumonkai.com/>

事務局 大矢 真弘 Tel 042-475-8532

ご挨拶

東久留米稲門会会長 山口 謙二

本号が皆様のお手許に届く頃、実感こそありませんが暦の上では「立冬」です。記録的猛暑の夏が過ぎ、秋めいた気候であろうと思います。この場をお借りして昨今の会の活動状況をお伝えします。

尚、本稿は締め切りの関係もありまして、内容が多少「予定稿」記述の部分がありますが、ご容赦願います。

- ・ 「稲門祭」が 10 月 19 日（日）、大学校友会主催の稲門祭が開催されました。当会から毎年 2 名の方が実行委員として運営のお手伝いをしています。記念品購入は目標 13 万円をはるかに超える 22 万円に達しました。学生支援に貢献出来ます。ご協力ありがとうございました。
- ・ 毎年音楽サークルが盛んに演奏を繰り広げますが、今年は大隈講堂でワセオケと合唱団（OB・OG を含む）がベートーヴェンの第九を演奏しました。
- ・ 「秋の懇親会」 11 月 8 日（土）過去催し物として講談・落語・漫才を行ってきましたが、今年は女性 2 名の音楽演奏を楽しみました。秋のこの会は普段着感覚で参加頂ける会として、今後も楽しい企画を考えたいと思います。

新年会のお知らせ

当会恒例の新春行事を以下の要領で開催致しますので奮ってご参加下さい。

- ・ 日時 2026 年 1 月 24 日（土） 13 : 30～
- ・ 場所 成美教育文化会館
- ・ 会費 一人 4,000 円（同伴者一人 2,000 円）

好評の「ビンゴゲーム」を予定しています。会から 1～3 等賞を準備しますが、会員の皆様のお宅で密かに眠っている「お宝」をご提供頂けると副賞・その他の順位賞に充当出来ます（ご披露の際、毎年大いに盛り上がります）ので当日ご持参頂ければ幸いです。

よろしくご協力の程お願いいたします。



会の告知版

【部会予定】

11月13日	(木)	稲門会コンペ			熊谷 GC
11月27日	(木)	映画鑑賞会「三十四丁目の奇蹟」	14:00～		成美教育文化会館
12月07日	(日)	役員会・忘年会	15:00～		中央町地区センター
1月17日	(土)	練馬稲門会ニューイヤーコンサート	15:00～		練馬文化センター
1月24日	(土)	新年会	13:30～		成美教育文化会館
2月01日	(日)	役員会	16:00		(生涯学習センター)
4月05日	(日)	臨時役員会	16:00～		(生涯学習センター)
4月18日	(土)	第32回定時総会	14:00～		成美教育文化会館

【大学・校友会関係】

11月22日	(土)	東村山稲門会			サンパルネコンベンションルーム
11月29日	(土)	23区支部・三多摩支部合同会長懇話会			大隈タワー「森の風」
12月06日	(土)	商議員フォーラム			早稲田大学
3月07日	(土)	春季幹事長・事務局長会			早稲田大学
3月07日	(土)	春季代議員会			早稲田大学

【各部会定例活動一覧】

部 会	11 月				12 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	12	水	10:00～	中央町地区センター	11	木	ランチ会	
書 道	5	水	10:00～13:00	スペース 105	14	日	13:00～16:00	八幡町地区センター
俳 句	20	木	13:00～	生涯学習センター	23	火	10:00～	生涯学習センター
囲 碁	23	日	13:00～16:00	成美教育文化会館	21	日	13:00～16:00	成美教育文化会館
太極拳	8	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	6	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	15	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	13	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	29	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	20	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:50～	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:50～	東久留米スポーツセンター
ソフトボール	10	月	11:00～13:00	南町運動広場	1	月	11:00～13:00	南町運動広場
	17	月	11:00～13:00	南町運動広場	8	月	11:00～13:00	南町運動広場
					15	月	11:00～13:00	南町運動広場
ボッチャ	19	水	11:20～13:30	東久留米スポーツセンター	13	土	13:00～15:30	東久留米スポーツセンター
	25	火	9:00～11:10	東久留米スポーツセンター				
C.ブリッジ	7	金	14:00～17:00	東部地区センター	5	金	14:30～17:00	東部地区センター
	21	金	15:50～18:50	生涯学習センター	19	金	15:50～18:50	生涯学習センター



会の報告



【三多摩支部大会報告】

日時： 9月07日（土）

場所： 大隈記念講堂小講堂／大隈ガーデンハウス

東京三多摩支部は前身の「三多摩稲門連合会」が1979年に発足して、2003年発展的に「東京三多摩支部」に改称し、2010年に東京都にある26市全てに稲門会が設立されました。

当日の出席者は150名。次第は第一部（挨拶と活動報告）、第二部大学理事講演「早稲田大学の現在と未来—創立150周年に向けて—」（内容は田中総長の商議員会等での内容に同じ）

第三部コンサート（早大中退のシンガーソングライター 大谷明裕氏）、第四部懇親会（場所 大隈ガーデンハウス）でした。どの会も会員の高齢化、会員数の減少という共通の悩みを抱えていて、懇親会で悩みを語り合う場面が多かったように感じました。

山口 謙二 記

【三多摩支部東部ブロック会議の報告】

日時： 9月28日（土）15:00～

場所： 三鷹市コミュニティーセンター

当会議の議題は以前から懸案事項となっている、支部長複数年制の件であった。2026年度の支部担当となる三鷹と武蔵野から、2年をかけて様々な課題の検討を進めていきたいとの提案があり、10月26日（日）に開催される三多摩支部の委員会に提案することになった。

しかし、課題の内容が各々の稲門会の問題、現在3つに分かれている三多摩支部のブロックの問題、そして三多摩支部としての運営の問題が混然としており、今後さらに課題の整理をする必要を感じた。

大矢 真弘 記

【秋季代議員会報告】

日時： 10月04日（土）16:00～

場所： 大隈講堂

以下、その概要を報告する。

・協議事項

- ① 2024年度決算承認 ② 推薦交友候補者承認 ③ 校友会幹事交代の件 早稲田大学校友会情報関連システム利用内規改正の件、全てが承認された。

・報告事項

- ① 賛助代議員名称贈呈について ② 代議員・支部長等異動について ③ 2025稲門祭について ④稲門会会員勧誘における個別訪問について 報告された。特に④の個別訪問については、様々なトラブルがあったため、極力控えるよう要請があった。

その他、田中総長からは、国際卓越大学への再挑戦することへの説明があり、強い意志を感じた。また、齋藤副総長からは募金関係の報告とお願いがあり、引き続き募金活動を積極的に展開してほしいという要請があった。

また、早稲田学報については新しい情報を早めに載せること、web投稿を推奨することなど確認された。各支部のHPについてもセキュリティ等十分配慮してほしいことと150周年の一環としてラインのアカウントを10月19日に立ち上げるので登録してほしいと担当から説明があった。

有賀 千歳 記



【大学校友会秋季幹事長事務局長会の報告】

日時： 10月04日（土）14：00～

場所： 早稲田大学大隈小講堂

萬代晃校友会代表幹事の開会の挨拶の後、2025 稲門祭実行委員長から今回は大隈講堂にて「第九」を歌う会もあるので是非おいでいただきたい等の挨拶があった。

引き続き、事業・組織・財務・広報委員会から以下のような活動報告があった。

- ・事業委員会：奨学金授与式、ゴルフ大会、稲門祭、卒業式前夜祭、校友会支援講座等
- ・組織委員会：年次稲門会等との合同会議、職域稲門会へのアンケート等
- ・財務委員会：2024 年度決算、W カード会員の減少状況、W スポーツ強化募金等
- ・広報委員会：学報の作成状況、英文のウェブサイト立ち上げ等

その後、校友へ地域稲門会への勧誘のために戸別訪問をすることは、様々な問題があるため今後禁止とし、住所情報の提供も止める方向で検討しているとの報告があった。また、会員の活動の事例報告として四国ブロックの香川県と愛媛県の支部幹事長より活動についての報告並びに募金関係の報告とお願い等があった。

2032 年の創立 150 周年記念事業のため、300 億円の募金目標を掲げており、校友の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

大矢 真弘 記

【役員会報告】

2025 年度第 3 回役員会が 10 月 5 日（日）16 時～ 生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

以下の事項について報告や意見交換が行われた。

1 映画鑑賞会

9/25 （木）「東京物語」、 11/27 （木）「三十四丁目の奇蹟」

*その後の日程は、2026 年 2/26 （木）、5/28 （木）、9/25 （金）、11/26 （木）の予定。

2 組織強化補助金 25 万円の申請について

（1）稲門祭記念品購入の件

220,000 円（目標額 13 万円）

（2）稲門祭へふるさと賞の寄付

<日本酒 大吟醸「東久留米」 約 2000 円 10 本）・・・ 9 月下旬に送付>

（3）体育関係部への寄付 5 万円 <2025 年度は「野球部」とした。>

3 秋の懇親会

（1）会 場：成美教育文化会館 3 階 大研修室 （13:00～16:30 予約）

（2）実施日時：11 月 8 日（土） 13:30～16:00

（3）案内対象：会員並びに 20 代～40 代の校友（ご招待：大学のメール・ビズにて案内済み）

（4）余 興：マリバ・サックス 演奏「ぼむぼつけ」

（5）担 当：大矢 受付：青木、金子

（6）その他：懇親会当日、市民大学（11/19・11/26）のチラシを受付にて配布する。

4 会費納入状況等

（1）未納会員等の件

納入者数 121 名 10/5 現在

未納者数 8 名

5 広報関係



(1) 東稲ニューズ記事の募集、印刷日時等

次回担当の片野氏より、資料に基づき編集概要案の確認等を行った。

原稿締切：10月25日（土）

印刷日：11月6日（木）15時～ 生涯学習センター 印刷室

16時～ 生涯学習センター 音楽室

6 今後の行事予定

(1) 役員会

12/7（日）忘年会を17:00から開始するため、役員会は15:00～16:30とする。（中央町地区センター）

2026年2/1（日）・4/5（日）

7 役員・部会長・会長経験者忘年会 <12月の役員会当日>

(1) 日時：12月7日（日）17:00～19:00

(2) 場所：「や台すし」（予定）

(3) 会費：4000円程度

8 新年会

(1) 日時：2026年1月24日（土）13:30～ <13:00～16:30 予約>

(2) 場所：成美教育会館3階 大研修室

(3) その他：担当 有賀 受付：青木、金子 ビンゴ：小山田、別処、大矢

*余興 ビンゴの景品として「商品券」（1等 5000円 2等 4000円 3等 3000円）を用意。

9 2026年度総会の講演会の件

東久留米市市民大学中期コースの「わが体験的ロシア・ウクライナ論」の西谷公明氏に依頼

*「琵琶入門講座」の坂田美子氏は、将来の総会時の講演会で再検討

10 サークル・部会関係

①女性サークル ②ゴルフ ③囲碁 ④俳句 ⑤書道

⑥太極拳 ⑦グルメ ⑧ウォーキング&山歩き ⑨カラオケ

⑩スポーツ観戦 ⑪諸芸術鑑賞 ⑫バドミントン ⑬マグカップの会

⑭ソフトボール ⑮ボッチャ ⑯コントラクトブリッジ

・次回役員会について

2025年12月7日（日）15時より中央町地区センター 第3会議室

大矢 真弘 記

【2025年 稲門祭報告】



10月19日（日）、2025稲門祭へ実行委員として片平さんと参加しました。

私は中央図書館横の駐車場管理を担当、全国各地の稲門会から出店等で駆けつけた会員を誘導しました。

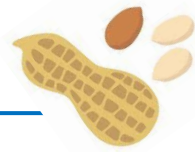
キャンパス内は地域の食べ物や酒、野菜や工芸品などが通路の左右いっばいに並び、現役生を含め様々な年代のOBが笑顔で行き交いました。

祭りを終え、ワンボックス車に片付けた荷物を積みながら、帰りも6時間かかるけど久々に母校へ来れてよかったと、仲間で語りあう姿が印象的でした。

時代が流れ世代が変わっても交感できる「心のふるさと」として、稲門祭が引き継がれていくことを願ってやみません。

稲門祭委員 梶井 琢太 記

部会だより 【活動報告】



<俳句部会>

第301回 9月21日(日)

兼題： 桃・運動全般 他当季雑詠二句

<高点句>

借り物は母さんの傘運動会 三浦洋子
千曲川遠く光りて蕎麦の花 上原徹也

<自選一句>

信濃には白き羽衣蕎麦の花 横田慧子
花好きの母は花野に行きしまま 片平るみ
一万の桃一万の袋かけ 川島知子
技終えて着地ピタリで汗ポトリ 馬場清彦
手術前泳ぎにはげむ吾であり 橘優治

第302回 10月19日(日)

兼題： 落花生・化粧を感じる句 他当季雑詠二句

<高点句>

頬染めて唇染めて七五三 片平るみ
高空にすうっとひと刷毛秋の雲 上原徹也

<自選一句>

化粧塩鈍色に映え秋の鮎 横田慧子
茹でたての大地の甘み落花生 三浦洋子
ままごとに金木屋のご飯盛り 川島知子
隠れ家を探しているよ秋の蝶 橘優治
風呂あがり素っぴん薫る秋の宵 馬場清彦
片平るみ 記



<書道部会速報>

書道部長 平山正経(十方)氏 第118回日展第五科(書)に初入選

日展は第一科 日本画、第二科 洋画、第三科 彫刻、第四科 工芸美術、第五科 書 と分かれておりますが、10月20日に第118回日展第五科(書)の発表があり、書道部長 平山正経(十方)氏が初入選いたしました。おめでとうございます!

ご興味のある方、以下のように開催されますので、是非ご覧いただければ幸いです。

会 場：国立新美術館 東京都港区六本木 7-22-2

期 間：令和7年10月31日(金)～令和7年11月23日(日・祝) *休館日：毎週火曜日

観覧時間：午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

< 当日券 1,400円、 前売券 1,200円 >

大矢 真弘 記

<ゴルフ部会>

秋の三田会との懇親コンペ

前日の雨とはうって変わり秋晴れ、長く続いた暑さもおさまり絶好のゴルフ日和となった10月2日、飯能グリーンカントリークラブにて開催しました。

稲門会9名、三田会4名の13名の参加と寂しいコンペでした。優勝は稲門会の清水宏和さん、準優勝は金子でした。清水さんは見事、春2位の雪辱を果たしました。デビュー以来上位の成績で安定して



います。3位は同じく稲門会の横田さんでした。ベスグロは膝が痛い
と足をひきずりながらのプレイで
したがさすがの上原さんでした。
ニアピン賞も上原さん、平山さん
と先輩方活躍が目立ちました。

最近では参加者が少なくなりやや
寂しいコンペとなっています。皆
様のご参加、さらにはご家族、及び
東久留米稲門会以外の校友会の方
もお誘いいただきたくお願いいた
します。

終了後は東久留米に戻り「庄や
東久留米店」にて表彰式と懇親会

で盛り上がりました。

○優勝者コメント（清水宏和：83年教育卒）

同伴競技者、天候、ハンデの3つに恵まれて初優勝を飾ることができました。スタートホールでダブルパー(8)をたたき最悪なスタートも最後には「優勝」などというおこがましい言葉をいただきました。クラブの特性を目いっぱい使う平山さんのスイングと、ステディな種田さん(三田会)のプレイに触発され、秘策(パットの極意：753の法則)が上手く機能したことが要因だと考えております(本当は隠しホールのおかげ・・・か)。

金子 孝司 記

<ソフトボール部会>

「野球やろうぜ!」というのは大谷翔平が全国の小学校にグローブを寄付した時に贈った言葉ですが、「ソフトボールやろうぜ!」と渡辺さんに誘われたのは、バドミントン部会に初めて参加した時でした。バドミントンは経験者ですが、正直、野球やソフトはほとんど経験がなく、新入社員の時に人数合わせで強引に参加させられた程度でしたが、せっかくのお誘いですので、喜んで「はい!」と答えました。

場所はイオンモールのちょっと南側にある南町運動広場(写真参照)です。部員は部会LINEのメンバーベースでは25名程度です。指導者の渡辺さんは早稲田大学ソフトボール部の出身で、その他数人の経験者の方々がボランティアで指導をしてくれています。大矢さんや有賀さんの様な「スポーツ万能オヤジ」もいますが、そうでない初心者の方も多いので、私でも何とかついていっています。



ですが、ソフトボールは野球の軟式球にくらべると、とにかく大きくて重い!バットに当たっても飛びません。まっすぐ投げるのも難しい!あらためてTVで、プロ野球や米メジャーリーグをみると、キャッチャーからピッチャーへの何気ない返球でも神業のように感じます。参加初日には、自分の右側にとんできたゴロを捕球しようとして、転倒。脇腹を痛めて苦しい思いも

しました。それ以降、無理はしないというのをモットーにしています。

なお、チームではお揃いのユニフォーム（上着のみ）と帽子があります（写真参照）臙脂の W の文字が素敵だと思いませんか？

また今年の夏は猛暑で、7月から8月にかけてはほとんどの練習日に「熱中症警戒アラート」が発令されて中止を余儀なくされました。冬場も低温でケガのリスクもあるので、休部しています。

やはり気持ちが良いのは秋と春のシーズンですね。

私は現在、ちょっとした事情で休部中ですが、来年夏をめどに復帰する予定です。また部員の皆さんと練習するのを楽しみにしています。東稲ニュースの読者のみなさま、初心者も多くハードルの低い部会ですので、ご興味がありましたら是非一度見学にいらっしやいませんか？

山縣 俊夫 記



部会だより 【今後の予定】

<カラオケ部会>

・冬のカラオケを楽しむ会のご案内

今年の日本では万博で盛り上がった反面、夏の酷暑・大雨等の異常気象、毎月の値上げラッシュによる物価高、政治的不安定など、又世界に目を向けると今なお続く各地での紛争と、ちょっと気持ちの暗くなる年だったのではないのでしょうか。年忘れのカラオケは如何ですか。

今年も下記の要領で「冬のカラオケを楽しむ会」を開催いたします。

ご参加の方は、12月5日（金）までに、恒例によりまして、お一人様3曲ずつ、ご参加の連絡の際に、「曲名・歌手名」をお知らせ下さい。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。



記

日時：令和7年12月16日（火）18時～

場所：オンチッチ（東久留米市東本町1-9 TEL 042-477-7333）

会費：5,000円

連絡先：後藤 秀作 Tel 070-2621-6822 メールアドレス shu.goto1949@gmail.com

後藤 秀作 記

<映画観賞会>

「三十四丁目の奇蹟」1947年制作 アメリカ映画

ジョージ・シートン監督 モーリン・オハラ、エドマンド・グエン ナタリー・ウッド(子役)

11月27日(木)13:30 開場 14:00 上映 成美会館

この映画は旧き良き時代の心温まるクリスマス映画です。アメリカの人々が大切にし待ちわびるクリスマスに関する作品は数多く作られています。この映画は 1994 年にリメイク版作品が上映、又ブロードウェイでもミュージカルで上演される等アメリカではクリスマスに観る定番物語になっています。

サンタクロースはいるのか、いないのか、子供の頃信じていた夢を大人になって壊して良いのか？裁判にまで持ち込まれた大問題の結末は、。。。

子供の頃夢を持っていたあなたに観て欲しい作品です。

(アカデミー賞の助演男優賞、脚色賞、原作賞を受賞)

小野 泰右 記



皆さまからのお便り

<大物が釣れた！！>

9月10日外川大盛丸にて釣行、大ヒラメ2枚。珍しいオオモンハタ1尾等をゲットした。

平山 正徑 記



<親の背を見て子は育つ>

本日(10月30日)、昨年2024年の不登校児童・生徒数が35万人を超えたというニュースが報じられました。3年前に30万人になったばかりなのに、2年で5万人も増えている現状を鑑みると、いたたまれない気持ちになってしまいます。

文部科学省の調査によると、増加率は低下したとは言うものの、仮にこの二年間で不登校から復帰できた生徒・児童がいるとすると、その数は5万人以上ということです。なぜこのようなことになっているのか、一教員として残念で仕方ありません。

私達が育った数十年前、昭和の時代であれば、それこそ『巨人の星』の父親、星一徹のように「何を甘えているんだ！」と、ビンタの一発でも浴びせれば、それで解決、という気がします。が、今の時代、そんなことは夢物語。SNSで大炎上、などということになるでしょう。

不登校の原因は千差万別で、その実態を正確に把握できることは到底困難です。親の溺愛、過干渉なのか、不在、無関心、育児放棄など、家庭環境によるものなのか、本人の成長過程において何か重大な

事案が起きたのか、はたまた、周囲の人々の影響なのか、ゲームに没頭し他者との関わりが持てなかったせいなのか、不登校になるきっかけは一言で、これだ！とはとても言うことはできません。

親が忙しすぎて、子供と一緒にいる時間が少ないため、子供が不安になり、情緒不安定な人間に育っていくからだ。または、親があまりにも子供を溺愛し過ぎて、あらゆることを子供が望むようにしたので、好き勝手し放題な子供に育ったからだ。与えられるばかりで、思うようにならないとすべてを放棄するように育つからだ。などなど、枚挙に暇がありません。

さらに、厄介なことに、仮にその原因が分かったところで、直ちに効果が表れる特効薬もない、ということです。

実際、私の勤務校でも、それぞれの学年に若干名の不登校、登校困難な生徒がいます。数年前に心理カウンセラーを招聘しましたが、そのことで不登校生徒が減ったということは耳にしたことはありません。不登校を解決するには、粘り強い寄り添いと時間がかかるものです。

一方で、そういった不登校児と、ある意味対照的な生徒はどのように育つのでしょうか。一教員として、長年生徒と、そしてその親と接してきた経験上、これだけははっきり言えます。親が公德心・健全な正義感を持ち、社会の規範・道徳などに厳格な家庭に育った子供は、本当に立派な中学生・高校生に育つということです。

三十数年前、年二回の保護者会という機会にしか親御さん達と接することができませんでした。が、教員の方が感心させられるような、優秀で温厚、礼儀正しく品行方正な生徒の親御さん達は、その当時、子育て中のまだ若く未熟な教員から見ると、その振る舞い、言葉遣い、見識などから判断して、「こういう大人になりたいな」と思わせる、尊敬できる方々ばかりでした。「どうしたらこんなに立派な子供に育つんですか？」と問うたものです。

現在、未就学児や小学生の子供を持つ親の世代は、すでにその生まれ年がほぼ1980年～90年代前半です。昭和の後半～平成初期に育った、現代の親達が、「昭和レトロ」ではないですが、古き良き、昭和の価値観を忘れずに子育てをして欲しい、と思うばかりです。

片野 尚樹 記



東稲広報室

【早稲田大学野球部アメリカ遠征のためのお願い】

早稲田大学野球部は1901年に創部され、来年125周年を迎えます。その記念事業として米国遠征を計画しており、スタンフォード大学や南カリフォルニア大学との対戦を予定しています。

為替変動や物価高により、学生の遠征費負担が非常に高額になっておりますので、なんとか自己負担を軽減できるよう、クラウドファンディングを開始しました。

もしご興味がある方は下記の大学のHPからサイトをご覧ください、ご協力をいただければ幸いです。（大学宛の寄付となりますので、税金控除の対象にもなります。）

「早稲田大学野球部 世界へ！アメリカ名門大学と究める文武両道への挑戦」

<https://readyfor.jp/projects/wasedabbc2025>

*尚、野球部のみでなくラグビー部や競走部、アメフト部等も同様の活動を行っておりますので、ご案内しておきます。

大矢 真弘 記



＜オペラ鑑賞会のご案内＞（清瀬稲門会主催）

- ・日時 2026年1月11日（日）13時開場 13時30分開演
- ・場所 清瀬アミューホール（清瀬駅北口徒歩1分）
- ・演目 「ニーベルングの指環 第3夜 神々の黄昏」

入場無料ですが、資料をお作り頂いているので200円のカンパをお願いします。
今回の演目をご存じのとおり連作物ですから、以前資料をお受け取りになった方はご持参ください。

山口 謙二 記



＜稲門祭記念品福引きの結果＞



毎年恒例の福引きが、稲門祭当日に行われました。

当会からは、ふるさと賞に以下の5名の方が当選されました。（敬称略）

小山田朋樹、金子孝司（二つ）、平山正経、
松崎勉、古川盛之（ソフトボール部会）

稲門祭委員 記

＜訃報＞ 竹山 信保 会員 2025年1月 逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

＜会員リレーエッセイ＞ ～噴水広場～

私の膝の変遷

S41 商学部卒 橘 優治

五十代

40代、50代前半は、足、特に膝に痛みを感じたことはなかった。ところが58才頃、職場で膝が急に痛みだしたので、ステッキを部下に買いに行ってもらった。その夜はステッキの助けを借り、タクシーで築地の小料理屋に駆け付けて無事に会食を終えた。翌日は痛みも引け、杖なしで通勤した。その後はずっと痛みもなく過ごした。しかし今思うと、最初に痛みを感じた時が変形性膝関節症の始まりだったのだらうと推測される。



六十代

平成14年（2002年）6月に第二の職場を退職した。自分の退職記念にドイツをユーレイルパスでバックパッカースタイルで10日間の一人旅を楽しんだ。また念願であったドイツのビールを存分に味わった。駅でガイドブックを見てホテルを探し、ホテルまで歩いた。観光地巡りも駅から目的地まで歩いた。その頃は歩けるだけの体力・筋力・気力が具わっていた。

先輩達の勧めもあり、平成14年8月に東京駅の八重洲口に事務所を借り、不動産会社（仲介とコンサルティング業務を主として）を立ち上げ、平成16年12月に神田淡路町に事務所を移転しました。丸の内線淡路町駅の地上への階段は30段位でしたが、なんなく上り下りが出来ていました。

平成 20 年（2008 年）の 65 才の時、早稲田大学の同期 6 人でスイスを旅行しました。ユングフラウ（4158m）周辺トレッキングを楽しみ、小高い山へも挑戦もし、元気よく歩く力はまだまだあった。

七十代

70 才（平成 24 年）になったあたり頃から膝に痛みを感じるようになり、事務所の近くの整形外科に通うようになりました。2 週間に一度、膝にヒアルロン酸注射をしてもらい、痛みもかなり軽減されました。その後はヒアルロン酸注射で日常も普通に過ごして来ました。しかし右足の O 脚の度合いも徐々に進行していました。家内からも O 脚を治した方がいいのではと度々言われるようになりました。

八十代

令和 6 年 11 月（81 才）に膝にかなりの痛みを感じるようになり、対処療法では如何ともしがたいのかなどの思いもあり、整形外科の先生に相談して手術をする決断をしました。令和 7 年 2 月に掛かり付けの先生の紹介状をもらい、順天堂大学練馬病院に行きました。担当医と相談し、担当医のスケジュールと小生のスケジュールを調整して、8 月 21 日に手術してもらうことにしました。手術は人工膝関節置換術で、膝の関節の傷んだ部分を切除し、代わりに人工膝関節をはめ込む治療法です。8 月 21 日の午前中に右膝の手術が行われ、無事終了しました。翌日、理学療法士からリハビリの説明があり、即リハビリが開始されました。時に歩行速度の測定、膝の屈折の角度の測定が行われた。リハビリが進むにつれて運動もバージョンアップして行きました。リハビリも順調に進み、9 月 6 日に退院することが出来ました。18 日間の入院生活でした。手術をしてくれた執刀医及びそのスタッフ、介護士、理学療法士、家族に助けられたとつくづく感じた次第です。

入院中に読んだ本は次の一冊だけでした。「会計の世界史」（田中靖浩著、早稲田大学商学部卒業、公認会計士）は物語仕立てにしてあるので、面白く読みやすかった。積ん読本が一冊解消されました。

入院中に詠んだ俳句

- ・手術前泳ぎにはげむ吾であり
- ・病室より街の残暑を推し量り
- ・病室を避暑館（ひしょやかた）とし過ごしけり
- ・雲の峰あしたにむけてリハビリす
- ・病室は猛暑を知らずぽつねんと



編集後記

編集委員として、新人の挨拶を掲載させていただいた直後、「次回は片野さん、お願いします。」本当にびっくりしました。何をどうしていいのやら、皆目見当もつかないまま、この 144 号の編集を担当しました。

諸先輩方の指導の下で、執筆の依頼、原稿の受け取り、文字通りの編集、体裁の確認、画像の挿入、校正、などなど、初めてのことも多々あり、多大な迷惑をかけながらも、なんとかここまで辿り着いた次第です。これまで通りの「東稲ニュース」であるといいのですが。



今回の編集担当：片野尚樹、（片平るみ）